

Mizuho Daily Market Report

2024/9/12

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.39	142.36	▲0.08	▲1.38
EUR	1.1042	1.1012	▲0.0008	▲0.0070
AUD	0.6662	0.6674	+0.0022	▲0.0051
SGD	1.3020	1.3041	▲0.0005	+0.0003
CNY	7.1133	7.1194	▲0.0014	+0.0064
MYR	4.3274	4.3298	▲0.0124	▲0.0235
THB	33.65	33.65	▲0.10	▲0.58
IDR	15411	15400	▲50	▲75
PHP	55.95	55.97	▲0.42	▲0.62
INR	83.95	83.98	+0.00	+0.01
VND	24593	24590	▲72	▲275

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.653%	+1.1 bp	▲10.2 bp
日本(10年)	0.856%	▲4.4 bp	▲2.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.112%	▲1.9 bp	▲11.2 bp
オーストラリア(5年)	3.495%	▲4.7 bp	▲10.1 bp
シンガポール(5年)	2.307%	▲9.6 bp	▲19.5 bp
中国(5年)	1.701%	▲3.6 bp	▲7.3 bp
マレーシア(5年)	3.485%	▲0.6 bp	▲3.4 bp
タイ(5年)	2.272%	▲1.2 bp	▲1.4 bp
インドネシア(5年)	6.491%	▲1.3 bp	▲8.0 bp
フィリピン(5年)	5.934%	▲0.8 bp	▲2.2 bp
インド(5年)	6.718%	▲2.2 bp	▲4.6 bp
ベトナム(5年)	2.080%	+0.0 bp	▲1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,861.71	+0.3%	▲0.3%
N225(日本)	35,619.77	▲1.5%	▲3.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,763.58	+0.3%	▲1.7%
ASX(オーストラリア)	4,474.25	▲0.2%	▲1.0%
FTSE(シンガポール)	3,531.17	+0.5%	+2.6%
SSEC(中国)	2,721.80	▲0.8%	▲2.2%
SENSEX(インド)	81,523.16	▲0.5%	▲1.0%
JKSE(インドネシア)	7,760.96	▲0.0%	+1.1%
KLSE(マレーシア)	1,639.80	▲1.2%	▲1.8%
PSE(フィリピン)	6,944.88	▲0.6%	+0.9%
SETI(タイ)	1,415.41	▲0.9%	+3.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,253.27	▲0.2%	▲1.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	269.36	+1.5%	▲0.3%
金	2,511.76	▲0.2%	+0.6%
原油(WTI)	67.31	+2.4%	▲2.7%
銅	8,964.78	+0.7%	+1.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.60	—	144.80
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6635	—	0.6730
USD/SGD	1.2960	—	1.3180
USD/CNY	7.1160	—	7.1390
USD/INR	4.3000	—	4.3930
USD/THB	33.30	—	34.15
USD/IDR	15350	—	15600
USD/PHP	55.90	—	57.00
USD/INR	83.30	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は142円台前半でオープン。東京仲値にかけてドルがやや買われ一時142円台半ば付近まで上昇。その後、米国で開かれた大統領選候補者テレビ討論会を受けて、ハリス氏優勢の見方が強まり一転ドル売りに。さらに、中川日銀審議委員が同時時間帯に発言した内容がタカ派と解釈され、円買い圧力も強まり140円台後半まで下落。一巡後は141円台を回復し、141円台前半で海外時間へ。アジア通貨は米8月CPIの公表を控え、小動きとなった。インドネシアルピアが前日比+0.2%、フィリピンペソが前日比+0.6%と小幅に上昇となった。

NY時間のドル円は141円台後半でオープン。朝方に発表された米8月コアCPI(前月比)が予想を上回ると、発表直後は買いが先行し、142円台半ばまで上昇。しかし、その後は米株式主要3指数の軟調な展開が重しとなり、一転リスクオフの円買いが優勢となり、141円台前半まで値を下げる。午後は下落していた米株が反転上昇する展開を受け、142円台前半まで円が売り戻され、その後同水準にてクローズ。

【金利】

米債利回りは上昇。昨日発表の米8月総合CPI(前年比)については前回対比鈍化が確認できた一方で、コアCPI(前年比)については+3.2%と前月対比変わらずの結果だったことを受け、FRBによる大幅利下げ観測が後退。米10年債利回りは前日比+1.1bpでクローズした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日は中川日銀審議委員によるタカ派発言等を背景にドル円は一時140円台後半まで急落した。米8月CPIの結果を受けFRBの大幅利下げ観測が後退したことから一時ドル買いで反応する場面が見られたものの長くは続かず、本日海外時間では米8月PPIの公表を控えているが市場予想対比強い結果とならない限りはドル売り優勢な展開が継続する。

【本日の予定】

(日本) 3Q 景況判断BSI大企業全産業
(日本) 8月 国内企業物価指数
(日本) 8月 東京オフィス空室率
(日本) 国債入札(20Y)
(日本) 田村日銀審議委員会見
(アジア) 7月 インド 鉱工業生産
(アジア) 8月 インド CPI
(アジア) 8月 インド 貿易収支
(アジア) 9月 豪 消費者インフレ期待
(欧州) 7月 独 経常収支
(欧州) 8月 英 RICS住宅価格
(欧州) 8月 西 CPI(確)
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ガルトECB総裁会見
(欧州) 伊 国債入札(3Y、7Y)
(米国) 2Q 家計純資産変化(確)
(米国) 8月 PPI
(米国) 8月 月次財政収支
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。